

せいれい乳児院の窓から

第142号 2025年6月



子どもの権利条約を日本が批准したのは、今から31年前の1994年4月のことです。この「批准」が表す意味は、日本が国として子どもの権利条約の趣旨に賛同し、受け入れ、守りますという国家意思を世界に向けて発信する。また、国内においても憲法に次ぐ最高法規の一つに位置づけますという姿勢を示したことに他なりません。が、その後の30年間、こども達を取り巻く環境はどうだったでしょうか。

子どもの権利条約が定める4原則は、第2条、差別の禁止。第3条、最善の利益の追求。第6条、安全な発達保障。第12条、意見表明権の尊重です。そして、これを守るのは私たち大人の役割です。

こども達の権利擁護にとって、決して味方とはなっていないこれまでの30年間を振り返り、今後は、子どもの権利条約を日常的に意識し、行動に反映させていくことが大切です。聖霊乳児院においても、こども達の声にならない声に耳を澄まし、寄り添い、抱きしめていきたいと思っています。(院長 常盤秀樹)

注)「こども」の表記については、子どもの権利条約以外は「こども」としております。



ご復活祭



4月20日、イエスキリスト様のご復活祭をお祝いしました。読み聞かせや手遊びを楽しみ、シスター吉田からご復活祭のお話を聞きました。Rくん(1歳4か月)は、大人に手伝ってもらいながら小さな指でシールを卵型の紙に張り、イースターのかざり作りを楽しみました。



こどもの日

子ども達はみかんやぶどうのお面をつけて「パパパパパフェ」を踊りました。音楽が流れるとRくん(2歳2か月)は、大きな声で「かわいい〜かわいい〜！」と連呼しながら踊り、笑いを誘いました。練習の時から大人にたくさん「かわいい」と言われていたんでしょうね。

院長先生がお友達のうさぎさんとねこさんとらさんと呼んで、大きなかぶを引っ張りました。Aちゃん(1歳3か月)とYくん(1歳4か月)もねこさんとらさんに抱っこされて一緒に手伝ってくれました。大盛況でした。



お買い物

栄養部さんにスーパーへ連れて行ってもらいました。順番にカートを押したが、野菜を買ったりお魚を見て回りました。お菓子コーナーでは、たくさんのお菓子を目の前に、どれにしようか迷いながらもそれぞれに好きなお菓子を選びました。買ったお菓子を片手に、帰り道もご機嫌♪な子ども達でした。



食育活動

ポテトサラダ作りをしました。野菜の形や重さ匂いなどを感じ、レンジで柔らかくなったじゃが芋と人参をつぶす、マヨネーズで和える体験をしました。Tくん(1歳7か月)も大人に手伝ってもらいながら興味を持ってつぶしたり混ぜたりしました。ポテトサラダができると皆で味見タイム。いつもなら食べない子もクッキングをすると全部食べます。クッキングは、アットホームな時間で子どもも大人も大好きです。



4月に入って、テラスで子ども達と一緒にシャベルでプランターに土を入れて、イチゴとミニトマトとオクラの苗植えをしました。お天気の良い日には、水やりをしながらお友だちと新鮮なイチゴを食べてニッコリ笑顔です。トマトとオクラの成長も楽しみです。

泣いたり笑ったり

つばめ組 Rくん(2歳2か月)

Rくんと公園に行きました。アリを発見したRくん。「アリっていうんだよ。アリさんのおうちもあるよ。」と伝えると、「アリ!アリ!」と言って巣に入っていくアリをずっと見ていました。アリの行く方へついて行ったり、触ろうとしたりと初めてのアリに興味津々でした。また見に行こうね。

つばめ組 Kくん(1歳8か月)

車が大好きなKくん。お布団に入っても眠りにつくまで「きゅうきゅうしゃ。バス。トラック。ブーブー。」とニコニコでお話しします。ご飯中も「きゅうきゅうしゃ。」と頭の中は車でいっぱいKくんです。ミニカーでいっぱいあそぼうね。

ご支援ありがとうございました

2025年3月1日から5月31日までに、寄付・寄贈にご協力いただいた方々のご紹介をさせていただきます。

【寄付金】

今井防災システム 卯野賢一 公益社団法人金沢法人会女性部会 黒瀬清
北陸学院中学・高等学校 酒田佳幸 国際ソロプチミスト金沢 匿名の方4件

【寄付物品】

押野校下婦人会 野泉賢作

(敬称略)



■編集・発行 聖霊乳児院

〒920-0865 石川県金沢市長町1丁目5番46号

TEL 076-223-2878 FAX 076-222-7589

HP <https://www.kanazawa-seirei.org/nyujiin/>